



平成23年10月6日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
 (コード番号 6112)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
 (TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年6月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	20	40	22	2.20
今回修正予想(B)	1,500	10	20	10	1.00
増減額(B-A)	△400	△10	△20	△12	
増減率(%)	△21.1	△50.0	△50.0	△54.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	2,234	△33	20	18	1.85

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、当社の売上は一定しておらず、季節の変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きくなります。また、当社製品が大型プレス機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレを生じてしまうのが、当社の事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、当111期通期における売上高につきましては、海外向け売上を中心に健闘しておりますが、国内経済の不振等先行き不透明感が拭えないことから、前回発表予想数値19億円を15億円に減額修正するものであります。

利益面につきましても、原価低減を始め、人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、利益に貢献する売上物件が順調に確保できない状況が多いことから、営業利益、経常利益、当期純利益において、前回予想数値を下回る見込みでありますのでそれぞれ減額修正するものであります。

受注状況につきましては、弊社は回復傾向にあり、第3四半期累計期間における受注高は、海外向けを中心に前年同期(10億56百万円)を上回る12億19百万円の受注を、受注残高に關しましても前年同期末(9億2千万円)を上回る10億61百万円を確保することができました。今後につきましても、現在成長著しいブリックスを中心に国外からの大型案件の引き合いを始め、国内からの引き合いも浮上しており、この成約に向けて努力しているところであり、更には、アジア市場への販路拡大をも視野に入れ、一層の受注増加を目指し、業績向上に努力していく所存であります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以 上